

## 第3期計画策定に向けた事業所実態調査の質問項目について

### 委員の皆さんにお願いしたいこと

第3期産業振興アクションプランの策定に向け、その基礎資料とするため市内事業所に向けたアンケート調査を実施します。調査をする上で、前回（平成30年度）実施の調査項目（資料5）をベースに、修正を加えた上で実施したいと考えています。

今回、アンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、市として今後必要な施策の方向性を検討し、第3期計画に反映させます。

なお、一般的に質問項目が増えると、回答率が低下すると考えられるため、質問する必要性が低いと思われるものについては、削除したいと考えています。

まずは、事務局として、質問項目の修正案を以下のとおりまとめていますので、修正案の内容やそれ以外の部分についても、「こういった質問をすべきではないか」、「この質問は必要ないのではないか」といった議論を第2回懇話会にて行い、アンケート調査票の作成に繋がりたいと考えています。

最後に、アンケート調査の対象については、令和4年度に実施した物価高騰対策中小企業支援金事業にて把握した約2,500の事業者に送付予定としています。（郵送で質問票を送付し、郵送で回答）

**事業所実態調査での質問項目にかかる事務局修正案**

1. サービスの利用について

**問1**

●市の制度が羅列されているが、摂津ビジネスサポートセンター、テナント賃借料補助制度、新商品開発補助金制度を追加する。

2. 経営状況について

**問3、問4**

●属する業種の景況感や傾向（拡大・縮小）を質問しているが、質問としての優先度合いは低いのではないか。

**問5**

●売上高について質問しているが、近年物価が高騰している中で、仕入れ価格が増加し価格にも反映していると考えた場合、おのずと売上高としては増加してくると予想される。その場合、問5はあまり質問することに意味がなくなってくるのではないか。問6にて最終利益を質問しているため、問5の質問内容は削除しても良いのではないか。

**問7**

●同業他社との技術、サービス水準の比較を質問しているが、質問の意図がわからないため削除しても良いのではないか。

**問8**

●事業者の強みを質問しているが、アンケート結果を今後の産業振興施策の参考にするのであれば、「強み」ではなく「弱み」を自由記述形式で質問する方が良いか。もしくは、問12にて、経営課題について質問するため、このまま強みを質問する方が良いか。

**問10**

●連携の状況を質問しているが、そのきっかけも選択肢を設けて質問してはどうか。

**問 12**

●今後の経営について、選択肢形式で回答することとしているが、自由記述とする方が良いか。また、『コロナ禍（R2.4）前からの課題』、『コロナ禍（R2.4）以降の新たな課題』と分けて設問を設けて回答していただくのが良いのではないか。

**3. 企業立地について****問 15**

●土地・建物の所有状況や面積を質問しているが、質問項目として優先度合いは低いのではないか。

**問 18**

- 年（和暦・西暦）を最新のものに更新する。
- ③の質問内容は「投資の概要」ではなく「投資の時期」ではないか。

**4. 雇用状況について**

●従業員数や採用実績に関する設問はあるが、人材確保の状況についての設問がないため、「確保ができていない」、「確保する必要があるが、確保できていない」、「確保する必要があるが、確保ができていない」といった質問を追加してはどうか。また、「確保ができていない」場合、その手段、「確保する必要があるが、確保できていない」場合、その理由を選択肢を設けて追加質問してはどうか。

**5. 市政への要望、その他について****問 32**

●前回の調査では、「5. 中小企業への支援の充実」の回答が最も多かった。しかし、「2. 商店街の活性化」や「7. 起業家への支援の充実」も中小企業への支援の充実に含まれているため、選択肢としては良くないように思える。『問 33 行政に期待すること』と同じような趣旨の質問だと思われるため、まとめてはどうか。また、自由記述とするのも一つではないか。